

【社会科・中2 歴史的分野・「近世の日本～江戸幕府の成立と対外政策～」①】

本時のねらい

江戸幕府の大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの対外政策と対外関係などを根拠に、江戸幕府安定につながるキーポイントとなる政策を話し合い、諸政策のねらいを整理・可視化する活動を通して、様々な事象が関連し、幕藩体制による支配が整ったことが、長期政権の確立へとつながったことを理解する。

ICT活用のポイント

- 一人一人が前時までに学習シートに整理したキーポイントとなる政策（根拠となる資料及び理由）について、**グループで共有ソフトを用いて並べ、比較**する。そして、グループとしてのキーポイントとなる政策を3つ選択する。
- グループでの話し合いを通して選択したキーポイントとなる3つの政策について、**共有ソフトで整理・作成**する。
- 一人一人が表現した「単元のまとめ」や、「単元全体の振り返り」を、ICTの即時性を生かして、**全員で共有**する。

【つかむ】

前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。

【追究する】

各生徒が整理した学習シートを持ち寄り、考えを聴き合ったり、違う角度から見合ったりして、グループでキーポイントと考える政策を3つ決める。

グループで考えたキーポイント政策を学級全体で交流し、その中で見出されたキーワードを整理する。

【まとめる】

幕府が安定して政権を維持できた理由について自分なりの言葉でまとめたり、単元の振り返りをしたりする。

事例の概要

- データ**を活用し、前時に作成した学習シートを確認する。

【活用場面①】

<めあて>

キーポイント政策を話し合い、江戸幕府が約260年も続いたのか、理由を明らかにしよう。

【事例におけるICT活用の中心場面】

- 各自が考えた江戸幕府の安定につながるキーポイントとなる政策を、**共有ソフト**を用いて、伝え合う。（根拠となる資料を必ず示す）

【活用場面②】

←【重要】 概念的知識を獲得するための「知識の再構成」をする過程として、学級全体での学び合いを行う

- 生徒一人一人が考え、表現したことを**共有ソフト**を用いて、確認し合う。

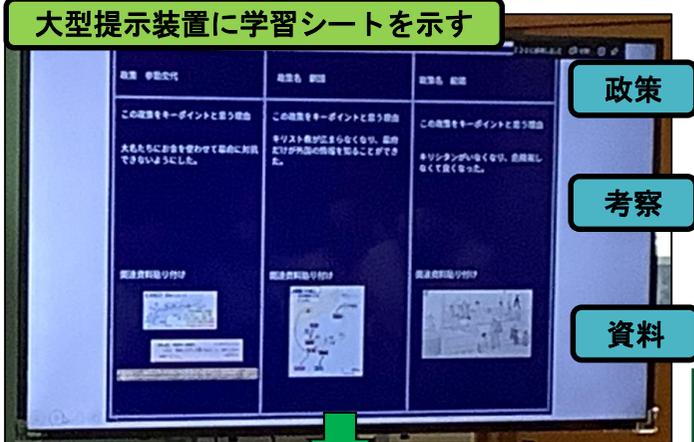
表現すること ・単元の課題に対する「まとめ」

・単元全体の「振り返り」

【活用場面③】

【社会科・中2 歴史的分野・「近世の日本～江戸幕府の成立と対外政策～」②】

【事例におけるICT活用の主な場面①】



大型提示装置に学習シートを示す

政策

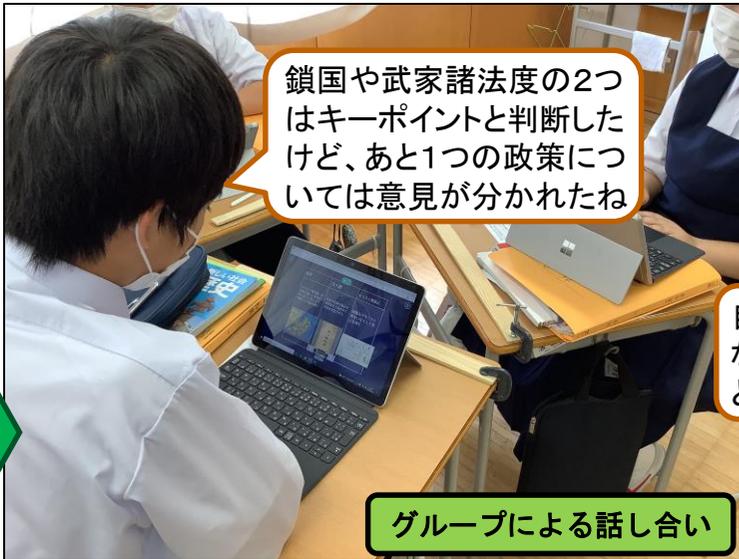
考察

資料

各生徒が前時までに作成したシートを複数示し、政策に対する捉え方や、根拠となる資料が違うことを確認するなど、話し合う必要感を醸成することができていた。

【シートに記入すること】
江戸幕府の安定につながるキーポイントとなる政策を3つ挙げる

【事例におけるICT活用の主な場面②】



鎖国や武家諸法度の2つはキーポイントと判断したけど、あと1つの政策については意見が分かれたね

グループによる話し合い



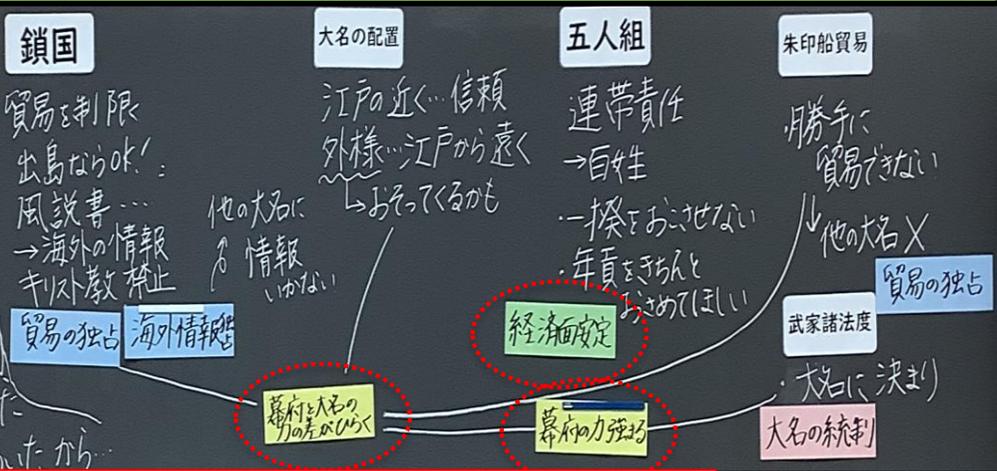
自分だけでは気がつかなかったな。友達が根拠とした資料も付け足そう

グループの考えを整理

共有機能を用いて、各自の考えや根拠等を数人で同時に確認し合う。その中で、互いのシートを比較し、共通点を探すとともに、資料などを付け加え根拠により説得力をもたせるなど、政策の意図について見直しを図ることができていた。【共有化・効率化】

【事例におけるICT活用の主な場面③】

学級全体での話し合い → 知識の構造化 ⇒ 概念的知識の獲得へ



教師が生徒の発言を関連付け構造化



まとめの文章を入力

「大名や百姓を統制することで力を落とし、さらに外国との独占的な貿易や安定的な年貢の徴収によって経済基盤の確立ができ、他を圧倒して支配する仕組みが整ったから、江戸幕府は、約260年も続いた」とまとめよう。



友達が入力した内容を確認

一人一人が端末等に「単元のまとめ」や、「単元全体の振り返り」を記録した。その後、それらを全員で共有し、互いの学びを振り返っていた。